

2022 年度事業計画書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

認定 NPO 法人 心の架け橋いわて

1 事業の計画

一昨年度からの新型コロナウイルス感染遷延を鑑み、対面支援活動の主体を地域支援メンバーが担い、遠隔支援メンバーは主としてオンライン支援を行うハイブリッド型支援への転換を図る。この体制を構築するために産業カウンセラー協会との連携を再強化し、昨年度実施できなかった第Ⅱ期地域支援メンバー育成研修を行う。高齢者への個別的オンライン支援事業「愛のマグの手プロジェクト」は、これまでの活動ノウハウのマニュアル化を進め、さらに利用者と支援メンバーを増やす。またコミュニティー支援型のスマートフォン教室や動画による啓発教育との連動を推進する。

延期となっている福島県の「なごみ」、宮城県の「からころステーション」との連携企画をオンラインで再開する。この内容については震災被害のみならず大規模感染症に伴うメンタルヘルス対策の視点を加える。

国際協力活動については「愛のマグの手プロジェクト」海外版の継続実施に加えて、昨年実施した日豪ジュニアプロジェクト支援を継続する。

なお今年度より仲本理事を迎え、多田理事が事務局長を兼務する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲及び 人数	事業費の金額 (千円)
①関係機関、団体との連携による、メンタルヘルスに関わる予防、啓発、相談事業	被災者支援活動:精神障がい者宅などへの多職種アウトリーチ相談対応、こころがけベース、住宅集会所、公民館などにおける相談対応 支援者支援活動:地域の高齢者、児童、障がい者支援団体における連携・協働 コミュニティー支援活動:こころがけベース、住宅集会所、公民館などにおける啓発教育的サロンの開催 現地入り支援が困難な時は、チラシやテレビ会議を用いた啓発教育を行う(愛のマグの手プロジェクトを含む)。	随時(第 三四半期 から月に 2回)	岩手県大 槌町およ び近隣地 区	21名	住宅訪問と相談対応: 被災地住民130名(延 べ) 支援団体:町役場、社 会福祉協議会、現地 支援団体など サロン参加者:被災地 住民および支援者な ど170名(延べ)	5,400

②ICT 機器を活用したメンタルヘルスサービスの提供	インターネット、遠隔テレビ会議システムの活用により支援者間および関係団体との情報共有を効率化し、医療過疎地への遠隔メンタルヘルス支援を実施する。	随時	岩手県大槌町、同釜石市、同盛岡市、山形県山形市、福島県相馬市、東京都世田谷区、神奈川県横浜市、千葉県千葉市、静岡県静岡市など	30名	こころがけ活動メンバー25名およびインターネットに接続できる環境がある関係者、特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会(なごみ)一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ(からこころステーション)、JAMSNET 東京など	3,200
	遠隔オンライン被災者・支援者支援 動画制作	随時	岩手県大槌町および近隣地区			

③災害復興に精通するメンタルヘルス専門家の育成	第Ⅱ期地域支援メンバー育成研修会(5回を予定)	6-3月	岩手県他	10名	参加者約50名	1,600
	日本精神科救急学会への参加および発表	10月		2名	学会参加者約300名	

④社会活動を行っている団体間の協力、支援、ネットワーク構築に関する事業	なごみ、からこころステーションとの共同オンラインシンポジウム開催	未定	福島県福島市	5名	東北地域の被災地支援者など約100名	500
	東北みらい創りフォーラム参加団体との連携協働	未定		2名	岩手県の被災地支援者など約200名	

⑤国際協力	JAMSNET との連携協力による愛のマゴの手プロジェクト(海外版)	未定	オンライン	3名	海外在住邦人約5名	1,500
	第2回日豪ジュニアプロジェクト会合開催	12月	盛岡	10名	フォーラム参加者約120名	

(2) その他の事業